

サルファ剤に係る食品健康影響評価に関する審議結果(案)についての意見・情報の募集結果について

1. 実施期間 令和6年2月14日～令和6年3月14日
2. 提出方法 インターネット、ファックス、郵送
3. 提出状況 1通
4. 頂いた意見・情報及び食品安全委員会の回答

	頂いた意見・情報	食品安全委員会の回答
1	何兆個も存在している体内の細菌に、このような抗菌剤が影響を及ぼし、体内の細菌体系を乱し、動物の体内に、現代科学レベルでは確認できない悪影響を及ぼす(つまり、その畜産物を食する人間にも悪影響となる)可能性は大いにあるので、この抗菌剤を使うことに反対です。	<p>食品安全委員会は、国民の健康の保護が最も重要であるという基本的認識の下、規制や指導等のリスク管理を行う関係行政機関から独立して、科学的知見に基づき客観的かつ中立公正に食品に含まれる可能性のある危害要因が人の健康に与える影響について食品健康影響評価を行っています。</p> <p>また、食品安全委員会では、抗菌性物質の食品健康影響評価においては、畜水産物を介して人に摂取された際の腸内細菌叢に与える影響を、微生物学的 ADI を設定することによって評価しています。</p> <p>本評価では、サルファ剤の体重(1 kg)当たり及び1日当たりの推定摂取量は、微生物学的影響調査結果において算出されたスルフイソゾールの微生物学的 ADI を超えるものではなく、また、その他のサルファ剤については、各菌種に対する MIC₅₀ が 128 µg/mL を超えたことから微生物学的 ADI の設定は不要と考えられました。このように、微生物学的な影響も勘案された結論になっています。</p>

※頂いたものをそのまま掲載しています。